



グッズを寄贈した山口会長（左）と甲斐署長（右）

4/3 新入生に交通安全グッズと防犯グッズを寄贈
安全・安心な学校生活を送ってほしい

荒尾地区交通安全協会（山口賢一会長）と荒尾警察署（甲斐雅英署長）は、町役場を訪れ、子どもたちのために交通安全グッズおよび防犯グッズを寄贈しました。

これは、新入生に安全な学校生活を送ってほしいと毎年寄贈されているもので、新小学1年生にはランドセルカバーなど、新中学1年生には反射タスキや自転車盗難防止のチェーンなどが贈られました。

戸越教育長は「寄贈いただいたグッズは大事に使いながら、交通事故や軽犯罪の防止につなげたいです」と話しました。



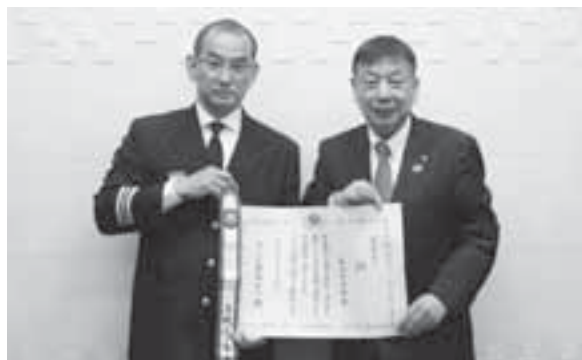
伝達式に出席した妻のタズさん（右から2人目）と息子の裕史さん（中央）

4/9 平成31年春の叙勲
松山知史さんが瑞宝双光章を受章

平成31年春の叙勲において、松山知史さん（下東区）が瑞宝双光章を受章され、町役場で伝達式が行われました。

松山さんは、昭和26年から平成3年まで教職員として長年に渡り勤務し、腹赤小学校校長時代には社会教育委員に就任しました。その後、社会教育委員長を歴任されるなど、本町における学校教育・生涯学習の発展に多大な功績を残しました。

この日の伝達式には、妻のタズさんと息子の裕史さんが代理で出席されました。



受章を報告した福田団長（左）と中逸町長（右）

4/3 町消防団が消防功労者消防庁長官表彰を受章
消防力強化への取り組みが評価！

町消防団（福田敏史団長）は、町役場を訪れ、平成30年度消防功労者消防庁長官表彰（竿頭綬）を受章したことを報告しました。

これは、防災思想の普及や消防力の強化などに取り組んでいる消防団などを表彰するもので、町消防団が受章した「竿頭綬」は、全国で45機関が受章しました。

受章の報告をした福田団長は「先輩方が営々と築かれた賜物だと思います。今後も団員一同、町民の皆さんの安心・安全のために努めて参ります」と力強く今後の抱負を話しました。



平和への誓いを述べる長洲中学校の宮本さん

4/3 平成31年度戦没者追悼式
～戦没者に敬意と哀悼を祈り～

ながす未来館で平成31年度戦没者追悼式が行われ、戦没者に祈りを捧げました。

式典の中で、町遺族連合会の松下進会長は「戦後74年になり、戦争を知らない世代が大半を占める中、今後も英霊を顕彰し、平和の尊さ、命の大切さを後世に伝え続けることで恒久平和が続くよう努力したい」と戦没者への誓いを述べられました。

また、長洲中学校の宮本真翔さんが「今日の平和があるのは戦没者の尊い犠牲の上にあることを忘れず、この平和を次の世代へ繋いでいきたい」と平和への誓いを述べました。



ながす環境保全協定運営委員の皆さん

3/25 ながす環境保全協定設立
組織間の連携を図り農業のさらなる発展を

ながす環境保全協定設立総会が、町中央公民館で開催されました。

これは、町内に15組織ある多面的機能支払交付金の活動組織が、広域協定を結ぶことで運営体制を一本化し、活動組織間で連携・協力し幅広い活動を行っていくことを目的としています。

本総会で坂上康男さん（赤崎区）を委員長とする「ながす環境保全協定運営委員会」が発足し、農用地、水路、農道などの地域資源および農村環境のさらなる保全活動に取り組んでいきます。



参加者に成果を報告する福岡大学の渡辺教授

3/28 福岡大学 水産試験研究報告会
干潟環境・環境資源が回復

町と熊本北部漁業協同組合・福岡大学は、同校が研究を進めているフルボ酸鉄シリカ資材（水質浄化作用）を活用した実証実験、研究成果の報告会を開催しました。

これは、町・熊本北部漁業協同組合・福岡大学が連携して行っているもので、ことしで4年目の取り組みです。

報告会では、関係機関のほか地元の漁業者約60人が参加し、ヘドロの減少、あさりの資源回復、干潟の環境改善などが報告されました。

この産学官連携の取り組みが県内をはじめ、有明海沿岸地域への広がりをみせており、今後も水産振興および干潟再生へ向けて期待されています。



盛り上がる参加者

3/17 上沖洲区民ペタンク大会
区民の融和を深めて活力ある“かみおきのす”を！

上沖洲区（石本雄二区長）は、上沖洲児童公園で上沖洲区民ペタンク大会を開催しました。

この大会は、楽しみながら健康増進と区民の融和を深め、活力ある上沖洲区づくりを目指して、初めて開催されたものです。

この日は、27チーム106人の区民が参加し、同区に在住しているベトナム実習生のチームも参加しました。

石本区長は「幅広い世代で楽しめるスポーツで、ベトナム実習生の参加もあって非常に盛り上がりました。今後も継続して開催したいです」と話しました。



漁業者などに報告をする徳島大学の中西客員教授

3/27 産学官連携の取り組みを報告
長洲干潟の環境保全・再生を目指して

町は、熊本北部漁業協同組合、徳島大学、鹿児島大学、水産大学校（山口県）と連携し実施している「長洲干潟の環境保全・再生実験」の報告会を開催しました。

報告会では、あさり漁獲高の推移やこれまでの資源回復への取り組みのほか、長洲干潟の現状評価やアミノ酸コンクリートブロックなどの有効活用を目指した研究・実験の調査結果報告を行いました。

今後も、大学と漁業者、行政関係者の産学官連携による水産振興へ向けた取り組みが期待されます。